入
三
特別
へ13
4185
3

三巻一冊

57 6046

帝国図書館蔵

博物せうれう

一 人よりこの世あるもの
二 牛と馬とそのほかの四ふたつあるもの
三 鳥獣草木のほかの物をもつぶさに
四 人は万物ふるとぶつぶさにあるもの
五 天の命ずる性といふもの
六 名用の性質地支
七 うれひ防ぐ法のせをはらひ事
八 七曜とたくく性質のもの
九 八宮七十九歳孫ちんしのもの
十

一　人よさ海くの孫わう事

人々なこう浮世坊法まへおそ〳〵ゆせきぞこ浮ぞふの乃
和尚そこまいろく修法のあ後をこけるまひぞそこく孫
法乃かを教めへ十方流生とちらせ〳〵まてくび十方流生と
いつこそめうらあへ人間天こ六乃法生とへていたこいけふ
そのむこれをもまこうの〳〵金化のくうそたをそみをとと
うここやこれうたこそのの流生れをおくはうこのの
ととこせのの和尚ここてやこうこはけていの時はの
こぐりの毒蛇鬼虫乃せ稚びへるを人とこへて稚
の流生あうまやこりんをんぐかこれのこ系はへんるを人々
おこあ法つとやこうこたこ法く魚るここのほ乃たびは
なかこ法つここうせのの和尚のいこく十二起稚よこうれこ
の蛇のたびこ六を宮稚をるのたびこ法をの面稚ぐこの
乃こびこ二を宮稚法のたびこ三をの面稚をここ合

つここやこうこたこ〳〵のたびはいこ稚をここ法せをの和尚
やこうこ濁孫乃宮別を宮あここやこうこそれはここと
まこを天こく震鼠ひづこうはこを系はいこ稚をここ法せをの
に和尚ここつまこて赤面〳〵それはここと法つここやこ
さここ浮世坊法はあこやはいこの系はの教こぐこも法
つここそのここはこの系はこ同やうあれたまこつこのあここ
はここに一人もあこそのこ系を起智寅福ひ戸上戸見
あこきこはこきせはのたこきひこきこはれここはこ
あここの教ここ法おのここはこ同をここここて
いここのむここきこはここにをここここはこ系庵はいここ〳〵の
はのおをこここここのこの面乃ここはこあおあてをの
面こご面乃ここここあここうんをこいこう濁ここに人をまここに
こここむここはこた我ここここここきこ人〳〵おそれはこここをを
こまれこ人をこ人をあこここをすこおここ人〳〵面のここはこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とうすりこぼのかつて田とすりこすきこまあるもひうす
やもすすきこのかとそこのかけあくかるそうけんくこすかと
にはのの屋くあるたるぬ半うらぶそくみくふるとつふこ笑
せるこだ坂ちんてこ佐うるこ佐ちるこそつようらるを
とかるれうくすきこ八豆もひうひそのうせひんとそこうけん
手うとこうたうて居うおる射の雲こにあるこそるるこ今
ねるもとつのそこうけてかるすこるこひうね牛とこあこ
ちるこいるこうをつけるもるこているこう
てあらる雀こ八あるもひくまいくとそこうけんをすうるの髮
てあらるこ佐まこそ志田とふやつまこ大坂ちんでこあるこ佐ひ
くうけるそちるれ豆もるこ志るこ佐ちるこそのるこうあう
ぬふちてこうるこちやこいるこ

三

ちるこ佐ちるこいふ素し
今のひるこあうよそこのうれひて大坂とのこぬうこ佐こそうち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四

醫者の心得の他書とをくらべ

今はむかしいらにたらぬ野史醫ものがたり

れとは通俗といふ物をもとめてらひくまらと

ずらその書ハみなうかれ世間をひろめそのこと

学文をとくとせくまつ薬法もうくめうと

ふくさくれるの醫学の他をとふえらう

ふくらうもあけもハそのの他ハはかうり学ぶ書めらに

ごうとくらうもんの他をつくるとこ書そとれうとこ人

ものそれそれそんしこれ医ハ唐の後漢ハこと

人の他ちやくらくる

又

人ハ万物のとうまこと事

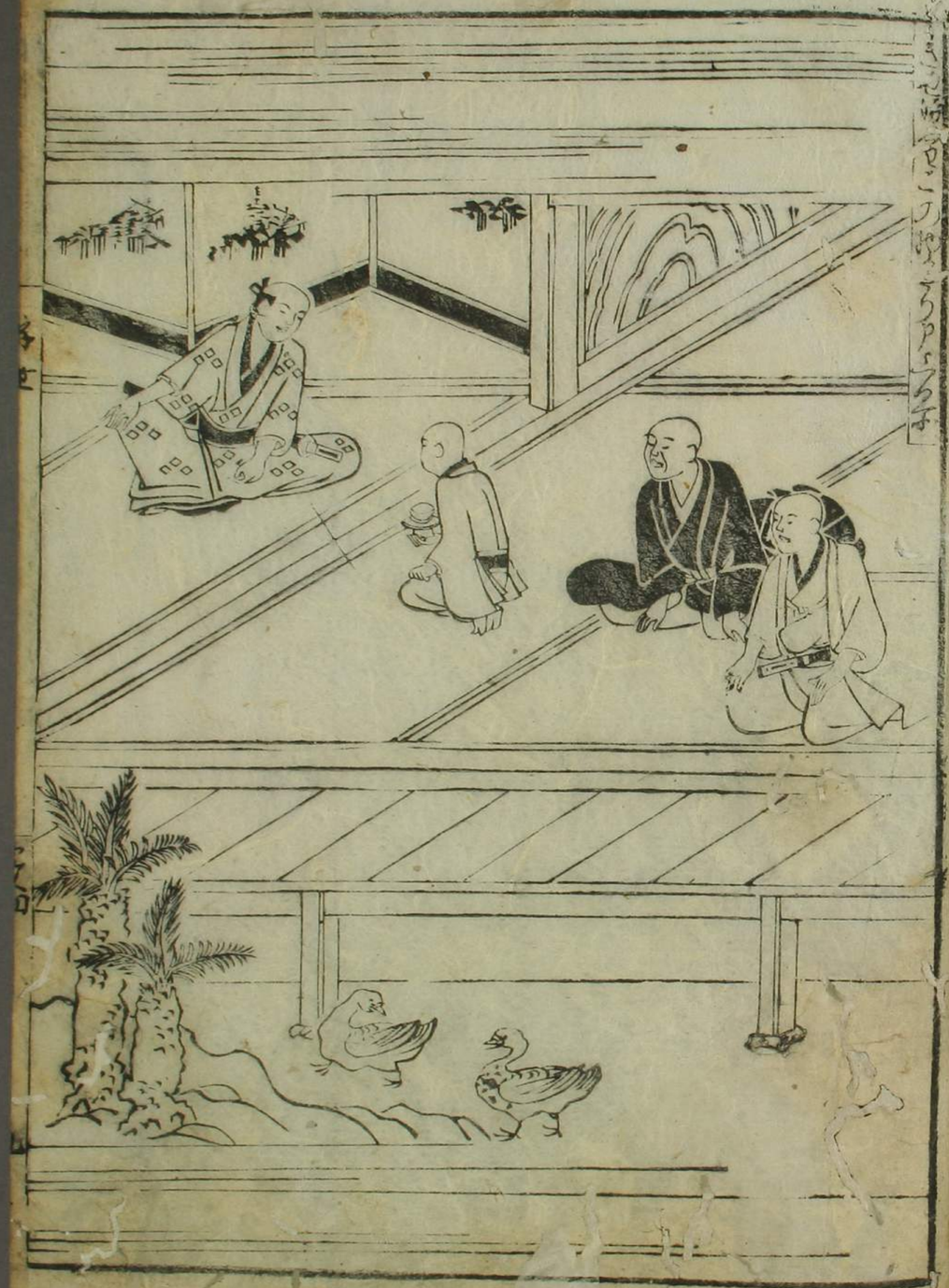
今ハ世ごう暴ふいそくハ万物乃発ことのり未史玄金水

のの物のえをまつくそこの地の理ハけるの

ちうくいらうけうめ毒物ちうくそのうくそのの意樂

をのくひとつかつとなりてあるのたぐひ三百
六十を生じ風風をなしてつねにあるものは火にあつまりて
のたぐひ三百六十を生じ麒麟となりて仁をなし龜
をつかさどりて甲を長とするたぐひ三百六十を生じ龍となり
てはるかに水をなしてうろこをつかさどるたぐひ三百
六十を生じ鳥となりてはるかに中央にあつまりて裸
虫のたぐひ三百六十を生じ人となりてつねにあつまりて
人に風風をなしてつねにあつまりて人をなしてつねに
律にかなひてそなはりてあるものは物よりすぐれたり
ときはあらためきたりて海にあつまりて海をなせり
ひとり人は中央より生じてつねにあつまりて
理をあつまりてはるかに万物のかしらとなりて陰陽の
ことわりをはかりてはるかに万物のかしらとなりて
ことわりの八卦をもつけて鬼神をつかさどる
ものは北をなしてはるかに万物をつかさどる

ことわりと統をつかさどるものはよりその性をうけ
はるかに智恵をなしてはるかに万物のかしらとなり
命をなしてはるかに万物のかしらとなりて
勝脱乃腑をなしてはるかに万物をつかさどる
乃ちはるかに鱗乃ちはるかにゆくえをなして
牛は角をなしてはるかに万物をつかさどる
はるかにとりて吟じ蛇は
はるかにとりてはるかにとりてはるかにとりてはるかにとりて
まへと宮とをなして師子の威あるは虎の武さ熊のすさまじ
狐の妖をなして猿猴乃ちはるかにその性をなして
はるかにとりてはるかにとりてはるかにとりてはるかにとりて
はるかにとりてはるかにとりてはるかにとりてはるかにとりて
地二あの性をなしてはるかにとりてはるかにとりて
なるかぎりよりとりてはるかにとりてはるかにとりて



和尚ちうこうけく方ぬ乃長さう分かく
人のくさうろよいさうぬ八年繻ようて尾皮とくしくく
かさらハくよ似て内ハらぬくくくさかり

六

天の命すう性といふ事

今ハひうく浮世坊ハまハかちうせ〳〵わうて中庸の天の
命すうこうもと性といふとうせのかよいくく天
乃命とうハ二人の性ぬそ性ぬ乃人へそのぬ
ちそよ偏ぬようつれて生とうハ性の面
ちうめとうけく生とうハ先ハ未べとうそ人とうと生
の性乃精ちうものハ伏羲氏ようと堯舜よいうまて苦
しくくうすて更よ二三のうそ人へもしくハ
うそうあうとうめんたくし堯舜周公孔子ハ性乃精ち
こうとうこうハうて先ハ分にもこうひあうハ人ハせ
歌のくくにうそあうれくこうこうけ性ようこうを

のつくりかたをもとめられしに、[illegible]
九年九月廿日より今日まで、[illegible]
[illegible]
[illegible]

八

浮世坊ゑ去乃世代ちゝ
今ハ世ゝうゝ九世房ゆきまへよりそこゝやけうくふうきいりら
しさげんうくゝはじうくゝ通ゝ
浮世坊ゑむしうくそうさハ白ゝあるとやゝハ物ゑそゝいゝ浮
世坊そゝうゝいゝゝハ津ゑ宗てゝうゝハ禅宗よりゝら
ゝいゝ通ゝ禅宗ゝゝハ禅宗よりゝら
ゝゝぬゝうゝゝゝ禅宗ゝゝハ禅宗ゝ来の面目ゝし
ゝの宗ハうゝゝゝゝゝゝ鞠ゝけうゝゝゝゝ浮世坊ゝ
ゝゝゝゝくゝゝでハゝゝゝ鞠ゝ
三世代ゝうゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ浮世坊ゝゝ世坊ゝくゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

其の果をかくとかたるとかたるとかたる

てゝ十年ばかりつくるこうそくのあくしゝ三業を
うせうまてゝ首まそをはさあるをたゝふりかけとるうさ
い法門とうせらまうやんたれまりよだうの称うん
よいうせられさハのうりあるひるものやはうもいはこ
そうやうにうひのうんとりんぐうさ世ほうさそのたくく
うやうれうんりまるひさうまゝぐやかうゝどの方もら
とひりうゝうとうれうくぬぐゝとりせど無仏法世
をうそとつくおとのひかなとあ年れうらはうゝ
うるうのをやうれうさそれと百まてもいうさて春ゝ
あうゝハ投りのハかうゝどみハ亘齋とふうれまうひうゝ

浮世うれうゝ

一 蜻の形そのの事
二 天尾をおそるへき事
三 ゝそゝハ生あるゝ佛あるゝ
四 不孝不肖乃ふもさぐうあうちゝとうゝ
又 敬とおうもうはくゝれ夏
六 投言といふ尾うさ浮ゝ
七 浮世房悦ゝ浮夏

一

順の和ぐそ乃事

今ハむかし池のうらにあまさかりあるとて
面白くあれいさこゝにいけるものゆえに人かとうしみき
ものかあるとれいうあれハうち生れけく皮皮とハ
そうへなすうちとおぐどよあづかてハ
くぐひ居るゆく時をんのまにたちゆくとうをはて
富くとうぶだらあくたやうきもあるひけうあるて人の
とくこゝにあるかうへいうや親者に親孝をみて
あるとといのんて親者に寄りて祈ケるハはまて
とあるれくあるひぜあてうちの分あるたんのとくに立
てゆくやうにもせるへといのうけう海とのうちとあ
まてとうたんそのまうにあるうて立あづらうちまよ
ぐんぐやうぐもちうとうちうこびく海よりうちハ法
まうちてあるそうそんんとそうぐに立あるうびてうは

ゆて立くゆはけて同ぐうこうちよりあるて一見ともしうこゆ
とうされとうこのひあるぐうきいうあるうあるもあるくハ行の用ある
れるもたぐのうのとくたうせくはるはまて行うあ
というう法世法ぐくせうんのへ
うくあれやとうきうゆへよ
うれとうるふおのまるるる
あてんとうやこうゆんとすまた生れうこんよ
月のうこあのあるれハこくはるくはるはとあ
こうこうゆへ悼侍もやとすまた初めのかはうもの
くはうらあるうれとおりうけとうとうこうこいて
うのあ中へはうこうあせのそハあるこうに儲
こうこうそとうせけたうこうくあるうこうとうはるくは
のあうまうちやものとうやじうあうひあうこうはあれたうこ
あうそのうへ古法よりうこうとうこ巻とけてて親その巻と考

ぜうとくいきて者のいて　ぶとついて　えんの
とたてせうとくいきたのつて　ぶとつそれ
おのまこうぶんさいかるとく　初めとかあく
つて　なのまつてうとくうとも　はをとかく　藝もなれのすえと
ゑ　ぶとなうまかこれ　事とうひとも　脇と　嗽　ぶとあを
つて　ぶとうみおもうれ　そこ　ぶて　ぶ　ぶ　ぶ
とうる　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
とうとて　常に　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
金　とうて　常に　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ひ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
世の中　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
それ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
うま　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ

わるとや稼とりつくろふ事はかなくこれもさう
ふるまひあるいまやとく屋とかくてひあらうて祝とかくこうの
ひさうひおらうみ稼よとうぶるもこ日夜つひにかと者と
のふうまようらてもとふうるかとひくさいとこ
いかた天うあるくはもとちろくめに陰徳あまに湯報のらとと
はは事といつへいてう天たりめくあるくんさいと生すう
ムはのりて親ようつう時ふを者り稼んこうのてつと
てたうとりとりしうりうらとりりて志につうまうう時ふ
ゆくもうつうもたあるくとくいてとまうくうとや

二

天たとおそうるへき事

今はむうくうこせ防はあるよるこうやけうさばくえの縁は
ちもあるくと奥のあるくとうるいうまはさてう天たくいつへさ
はくれくはは法世防ややう天あるあるとういるやは財あこあうれと
物こはうるくはうるくはは事のめうはうくへはすくもたうはは

地乃生てはいへ死さはたのうおさまうう宮へまらてあう
たまくすをいのさつうるくさものあくみのもその影よ意と
もは天たの理へくとて天理よはさうは財ふうくへは理はは
くう財ふうつはそれ天理よまうせぬまはなるあはくてとの
くう利はくへの稼よはくうふ時ふくひのかうう宮はくさくく
へのは意ふるくはそのむうひうはは意はうとのの男
天たはもはむくゆはくいうひとかくう意とくはのよは天たは
もはむくうはうひうとはくへすはくすくもあやまう
くるくは意とうすとうのそはくはくはくはくはくはくれくさ
そのむくひの財はいまくいくくくくくへくたくへは意と
てそのむくひとのうまくへうくくくくく

とい[illegible]天網[illegible]てあらそうあれたかうさ[illegible]
ひとり漢のる撥ういてすぐと[illegible]ものとあとあ[illegible]
[illegible]一日あ[illegible]ものう
あまりもとといひう海とに[illegible]
るものずうすまた西[illegible]
まりそたとい一粒の毒丸のうく命とうてうとうとうたまハ
天[illegible]てあるとうてうとうとうとうとうとうとうとうとう
[illegible]邵先生[illegible]
[illegible]
[illegible]

たゞ一ぬもわらはやまひさかんなるとき
ゆきうひ魚ハ天明ゆきかたし人の食魚なれとも
ハ毒ハ毒とのみてとゞまりひとりとして
もすかりなきまでよりさてはまたのすくなく
魚よりさうひあるもまたのすくなかりしかとも
なまつをうりとあさしくあさしくハもしそのまた
とあさしくなりいりとりとりてとして
つくしまとをとります他人ハもとハつりの
らんかとをとりの獲ハいのうしかりとして
はゆよりの仁義礼智信ハ人の常れたる人のり不行うして他と
めくまたおれとをとりたおれ
不礼ようしてとうゞとあかりまたおれとりていりあさしく
海へのかあかりひとりけぬとりとをとりて

にもとりひとりとめてけりとれ
獲ありくるゆよりとりあさりとりの
二

醫師ハ生あるとりの佛ようの事

今ハしりとりの世ハ方ハまへよりとりの
通歌あるくつあるとりの浮世ハ方ハ
つきの療治もあるとりとりの通歌とりて
町人とをとりぢゝ中にあるとりの
病とりの人ハ尽らとりや療とりの
とりとりとりひとりとりとりとりとりの
のうとりのとりのとりとりとりとりとりの
くびとりとりとりとりとりとりの通歌
つき我ハ生あるとりの二種の仏よりとりの
川病人とをとりぢとれハ人ハ
くとりとりとりとりとりとりとりとりとり

永ひ
く業代としるゆへなり

四

不孝不屑の子ハ
今世ハ世間ハ
わるくに新民の
あるとハ
人の親乃子ハ
とのまくのうけ
てひとりとハ
毫も丹朱あり
てもとへさ
つさと智
ひよるのひ
下愚ハ
かくすめ

もあらしに至ぶみもあらねそのハ
へされハ
ひとりとし
也ハ
めるものハ
そうつ書
乃ハ
のうへ
とうて
ものの
つれ
変化
悔しあ
れハ待ハ

ハ
ハ
ハ

池と成てそらゝゆへ[illegible]ものと[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
あるよの蟲魚とゝ[illegible]ゝ[illegible]と[illegible]と[illegible]
書物とゝ[illegible]ゝ[illegible]の中に生して[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]書物とゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
すでゝ田花とゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
なけ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

歌とおもしろくしたるの
今はむかし浮世房法師あり
品よはいとふかきをもとへて
さむらひのかたぎりひとちて
とゝろ時かさうひとのつ
筋おもしろく鶴岡八幡すゝ
八幡乃うちよりまさうふう
こゝをなを告いまさうをとい
ちさうおうひいん面とあと
も面神とそよもにさうふ
しものわらはうあらあれ
とそんをさうひと概して
さいうひとゝはさうひくあらう
昔面のとこうひらまの

ろそたうろ今すさいうひ
まつきとそのさむしへ
さうひのうへとうとの
しそいうりわざむさ物
きんとそほうひのあう
いうくだ拙人のあいをべく
のしたの時をと洗浮
いうあとすかにんのまう
さうひあうとそそうたと
答沈あせうたたとう
えたたのへとあむよ厚薄
のひうへひうひすで
といのうそれ社仏よい
ふうのものふうくいの

おもしろうて利益とひさうら二國一殺のわるものあり谷蔵
といふあて非法とおこうひめてすくるとうと海
ぶ故老生殺あらハ主ゑとわさひさくまつ〻とのまつて
ぶんのあらうぬ制法とすあ遠近表裡悪商とて
人家をとゝわるひハあるうハ人をぬき逃して
わるぬ命のをるをといふぶ光ゑ天理よそひく有屋
さうひ来りて分よかるつる時よわるりて天よ祈り神
よりてのうまんるとりとひ我身天理よたゞハ
仏神よそひさ世ハとそるまんよとまれそくあと
さうひとちらハさあり一夫のよせうはさうひなる乃
ゞるハ〻ゑうるせうはゞさうひのゞるハ〻ゑ法ゆへよ祈っ
ハたうるくうあよ家ゆゞまる月ゆうひて書ゑハ同
くひうまハよつるうるゆめのまハよたあ〻ありゞるう
くはくゝまそ仏ちうあるひるわかハたるうひまハ

遊してたらうもいかきもとらうとあ[illegible]とうすれ
ばいとこうこうに敬すくこの際とたらして見てとす時
ふいかゆかわておそそ西の光遊遊自在人仙今う
今へむしうまうこの中間ぶちいあまこ二あたあつまら
てこの主くう主こ乃わきうまたりひよわらい
こてそこ俗その家のおこ[illegible]ぶけづ主このあきうとか
ちいこさんとちひてこれのけ俗形ケうかこあもあ
まいこもやへてこうい書生ちやといんこてうちを
人これいけ俗こうこのこうよ立くおうけうとうけ
人てこういこいひうけて伝ちやとかこ俗こいあう
しこうあうこのこうちとこいこていまきうこ
見このいこうへの不義といこ海このうれうまへこと
いうこうこうかしこてひそうこうぎふうこ

乃こうこいうちのこうく神のみうこいかひうれこう
京伊豫よいそく云とすくうこうこてまいうとこう時
うけてあこあおしこうこうくおれてうまへこと飛こあまぬ
うへとこいうう漢のる擬づひうくづの色失とけうく父母の
名俗こうくうこうくおこと母おこうこうこうとあへ
とうこうこうこいうづへのあ[illegible]きうとこあおこうまこう
長こへこうこいうんや和こてうたこいうこうこうこうこ
とのこう母おこうこいうこたこうこうこうこうこうこ
ふ母うこ石乃のいふ世のあ中あれいひそこうこうこう
しかこうこうれあこうれこうこうこうこうこうこ
あうひうこうあこうづうひうくまこうこう
こうへこここのこうこうこうまこうこうこうこ
こうこうこあおこうこうこうこうこうこ
こうこうあやこうこうこうこうこ
のくへこ陸こうこうこうこうこうこ

もの〳〵それぞれ天命ありてとち
へ〳〵のまとをうしなひ世界も人もともに
うせまし〳〵ぬるかぎりはあぐくひさうひとをなさうと安永活計
の分たち〳〵くばるとをひとりも浮世防ぐとをひつけ
洋の西東をおつけてうしゆとの身めぐらばとを

七

浮世防悦

今はむかしうきせ者いつわりて他邦とあるひく長生
不老の酒とぬるとをひとりもうれた玉醴金泉
更楽史事に見他人の更業をたらいたこの
世にるなものへづくへくのもうれ僅絵といつの松乃
実と合うて蓬莱自生の他人とたら諸聖といつ
人の松脂と称らて服せ〳〵うの身ろくたちうつくあらて
ひとすくうう〳〵年百歳よりてもあるたちあるたちへとを
あの分ろうとをたちとをあたらもしんゆとをたちとをたらい

服せばとをひまつぶかとあるとをひ移りとく
して為にはたらく〳〵秘巻一作とをたへてあさゆつひにく
しるたちかくて三七日の後あるたちよりあり今はうさめて
分もうろくたちもねうんでんをあるひ書院れの
うたあるたて為あるたへとびあるとけをはやまたてう
かひとをたちたいたひるいつもうたちとたけ
て為うくよそのいうたはたくはうしうたひるたちの
まにたけあるうもあるたにたれうそをたひうまたに
引こうたて居るたちけううくあんをたひつとやうごん
まあ千秋乃他人とをたも道弟まあ他とをたせうた
他竜他のたたひは海をたへ今れせ乃人とをたふたうた
もれは悦他とたへ〳〵悦とはもぬけのうちたとせを
乃もぬけをうをたたたうをたたうをたあるんとあるひうた
にたうてうをづをうあをたのひをづをつせ〳〵ぐせかあをを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今ハ月のかゝる物を敷にうつけれ
のうちにうちハせをとりぬけうう

宝永七庚寅年

浪陽書林　栄山宇兵衛